



本校では「進路指導・支援の取組」を学校の重点課題として取り組んできました。既に進路だよりでお伝えしたものと、保護者を対象とした「進路学習会」は本校と分教室それぞれで2回。児童生徒を対象として、各学部で実施した12歳のチャレンジ、職場体験、就業（生活）体験の「報告会」と「進路講話」。その他、教員を対象にキャリア教育や障害福祉サービスについて学習会を行い、昨年度から学校全体で小中高を通して取り組む「キャリア・パスポート」の作成と活用については継続して取り組んでいます。

今回の進路だよりではこれらの取組について総括し、外部の委員の方に助言をいただいた「キャリア教育推進委員会」の報告をいたします。たくさんのご意見を参考にして、今後さらに本校の進路指導・支援を充実させていきたいと思っております。

進路指導部担当教頭 鞍田奈緒美

キャリア教育推進委員会報告

2月4日にキャリア教育推進委員会を開催しました。労働、福祉関係の職員の方々と一緒に、本校の進路指導やキャリア教育の取組について協議や情報交換を行いました。内容の一部をご報告します。

- | | | |
|-----------------------------------|-----|--------|
| ◆ジョブスクールさくらだに（就労移行支援・就労継続支援B型事業所） | 施設長 | 山下朋之 氏 |
| ◆つくしの家滑川（生活介護事業所） | 施設長 | 國多貴子 氏 |
| ◆高志福祉相談センター「にこっと」（指定相談支援事業所） | 所長 | 齋藤 薫 氏 |



事業所への見学や就業体験はできるだけ受け入れたいと思っています。しかし、作業以外の介助が必要な場合、施設設備や職員の人数の面で難しいこともあります。早い段階で本人の実態を把握していれば、卒業までの期間に設備や行政的な手続き等を準備できる可能性があります。事業所の状況も毎年変化していくので、情報共有のためにも本人の進路選択のためにも、家庭の協力や学校のサポートを受けて早い段階から見学を行うことが望ましいと思います。

生活介護事業所では、医療的ケアを受けている利用者さんが増えています。ケアを受けている方もみんな一緒にレクリエーション等の活動を行っており、周囲を見る様子や表情の変化が見られて良い効果があると思っています。絵カードを用いた視覚支援を行ったり、できたときや分かったときの表情を読みとって評価したりして、やりとりができるように関わっています。事業所では、学校で過ごしていた時よりも支援者の数が減り、大人としての関わり方にもなるため、思っていたのと違うと本人が感じて一時的に落ち込みが見られることがあります。一人で過ごす時間をどのように過ごせるかが重要だと思います。



将来のライフステージに向けて、家族と学校以外の心地よい場所を経験することが大事です。いろいろな場所での体験を通して、物事を知り、豊かになっていくのだと思います。不安もあるかと思いますが、福祉サービスは自分の希望に合うように変えられます。その都度情報を集めて、その時の状況に合わせて調整できます。相談支援事業所は、「何かあったら相談にのります」という思いでいます。一緒に模索し、柔軟に対応していきたいと思っています。

キャリア・パスポート2YEARS



「キャリア・パスポート」も2年目となりました。学校行事や体験、学習活動を通して振り返り、気づきなどを継続的に記録しています。保護者の方にもコメントをいただいたり、懇談時に共有させていただいたりしています。これまでの過程を振り返ることで、自らの成長を実感し、「主体的に社会と関わる力」や「自分の良さを生かす力」を育んでいきたいと思っています。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

